

① 教育の質保証として IRはどのように位置づけられてきたか ～ 大学教育の質的転換に向けて～

2013年11月27日
株式会社ハウインターナショナル

0-1. 自己紹介

九州工業大学の卒業生で福岡県飯塚市を就職するために平成11年に作った会社
【本社 福岡県飯塚市 / 社員 30名】
【資本金 77,565千円】

平成19年九州工業大学とGPIに取り組んだことがきっかけで現在、「教育の質保証」の仕組み作りをお手伝いをしています

九州工業大学 平成19年度 特色ある大学教育推進プログラム

学生自身の達成度評価による学修意識改革

学習成果自己評価シートをベースとする自己評価システムの構築

想いを共有できる大学を求めて、全国でセミナーも開催しています。

- 昨年:6月、10月参加実績 125大学 / 163名
- 本年:6月参加実績 71大学 / 97名
- 本年:10月参加実績 75大学 / 101名

好評につき今年も開催決定! 参加無料

教育の質保証セミナー

～ 課題整理と学修サポートフォロオの有効活用～

第1部 質保証で学生の成長を引き出し魅力ある大学にするセント
第2部 価値ある就職実践演習を作る

0-2. 本セッションの「目的」と「対象範囲」

目的

- ① 「質保証」の背景とこれまでの経過を俯瞰的に捉え、今後の流れを感じる
- ② 他大学の事例を通じ、具体的に取り組み可能な手がかりを掴む
- ③ 学内で質保障戦略を検討可能な共有知を構成する

質保証
＜ 本日の対象範囲 ＞

① 外部質保証	大学の器に対する質保証。 (制度の仕組みが中心)
② 内部質保証	教育の質の保証 (大学単位の取り組みが中心)
③ グローバル化が進む中で求められる質保証	

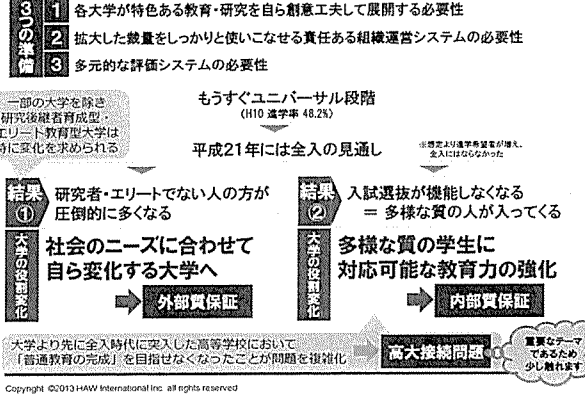
世界で進む人材競争・質保証が喫緊の課題であるもう一つの理由

※3つの質保証の切り口: H21「中期的な大学教育のあり方に関する第二次報告」より抜粋

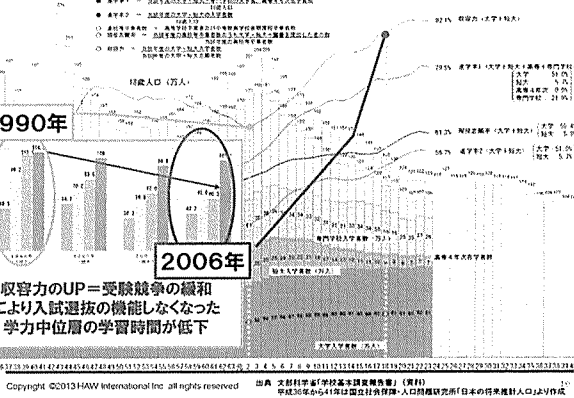
1 質保証はいつから出てきたか

- 1 入試改革議論の背景(高大接続問題)
- 2 外部質保証・内部質保証
- 3 他大学の取り組み事例のご紹介
- 4 「教育の質保証」のまとめ
- 5 「教育の質保証」と「IR」の関係性

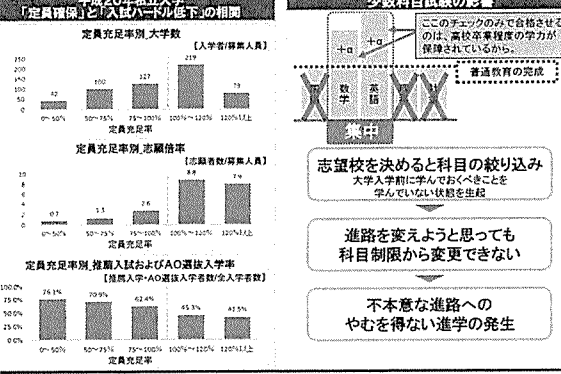
1-2. 3つの準備が必要と考えた背景



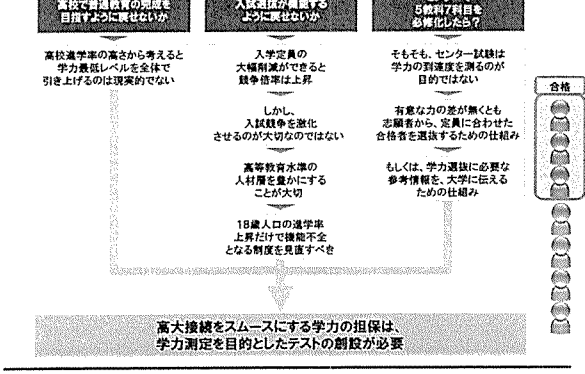
参考②: 18歳人口と進学率等の推移



参考③: 大学入試の高等学校への影響



2-2. なぜ「到達度テスト」か?



3-1. 自ら変化できる大学 【外部質保証】

変わらない大学であれば人口チェックだけでOKだった。
建学の状態を維持する大学から、社会のニーズに合わせて変化していく大学の時代へ。

	説明	当初ルール	現在
設置基準	大学を設ける上での最低限の基準	厳しい	H21に基準の大幅な緩和・弾力化
設置認可	自認課程の実現可能性を高め信頼性を確保する位置付けでの大学選抜の可否を学生の自ら責任を負うためのチェック	厳しい	H18・私立大学の設置認可の弾力化
認証評価	H21大学の質を担保するための評価制度の導入。認証評価が公的機関による評価から民間による評価へ移行	なし	H16スタート

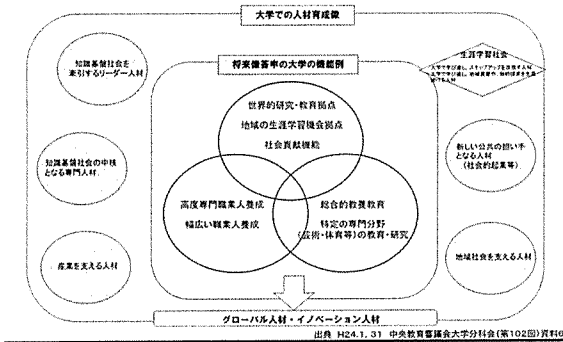
新陳代謝のための仕組み

平成18年 設置基準
平成19年 設置認可
平成20年 設置評価

7年に一度の定期チェック

3-3. 大学機能例7つ 【外部質保証】

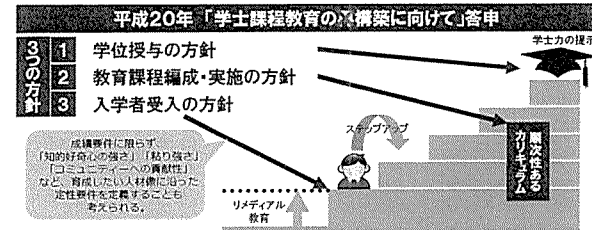
- H17答申で例として7つの大学機能例が示されているがなかなか進んでいない。
- グローバル30、グローバル人材、COC、COIなどは、機能別分化の後押し。



Copyright ©2013 HAW International Inc. all rights reserved

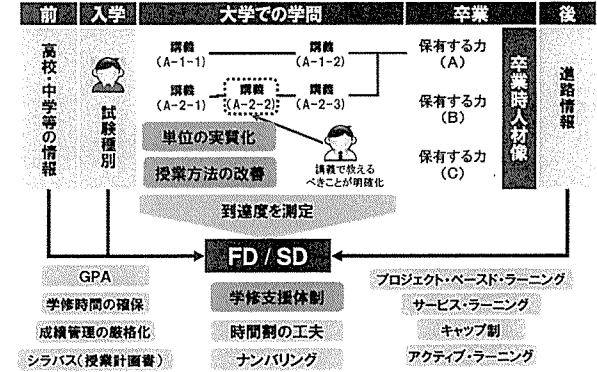
3-4. 次は【内部質保証】

- 1. 社会のニーズに合わせて自ら変化する大学へ
- 2. 多様な質の学生に対応可能な教育力の強化



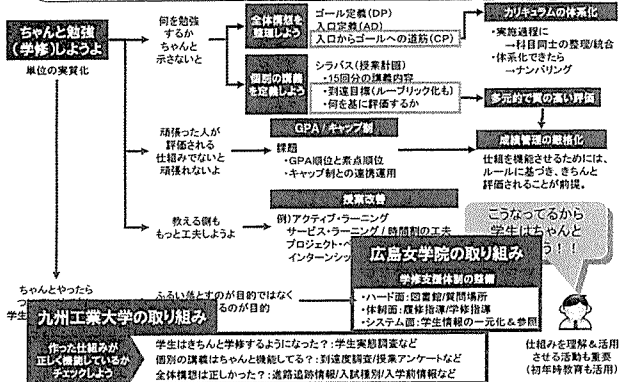
Copyright ©2013 HAW International Inc. all rights reserved

3-5. 合意できてきたイメージ【内部質保証】



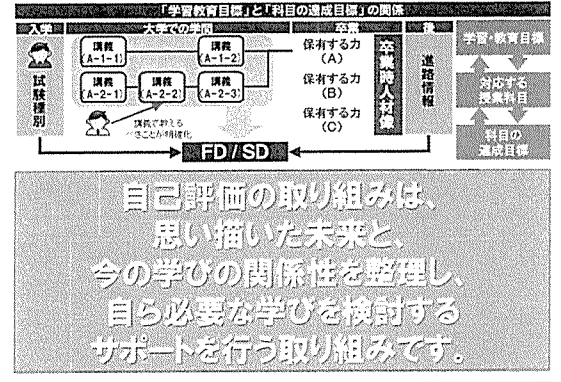
Copyright ©2013 HAW International Inc. all rights reserved

3-7. 学修時間の確保を起点とした整理【内部質保証】



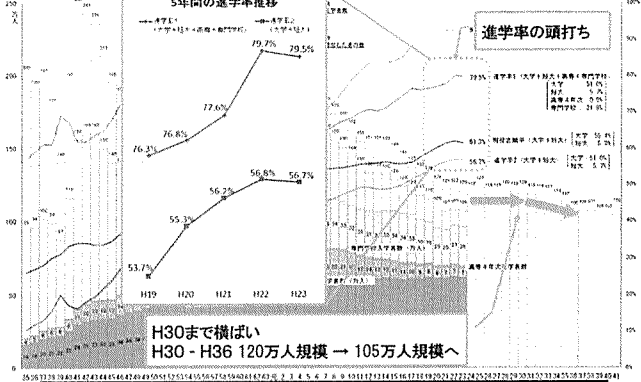
Copyright ©2013 HAW International Inc. all rights reserved

4-2. 自己評価の取り組み：九州工業大学



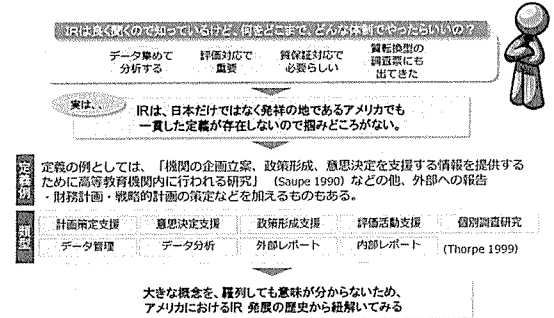
Copyright ©2013 HAW International Inc. all rights reserved

参考⑤：18歳人口と進学率等の推移



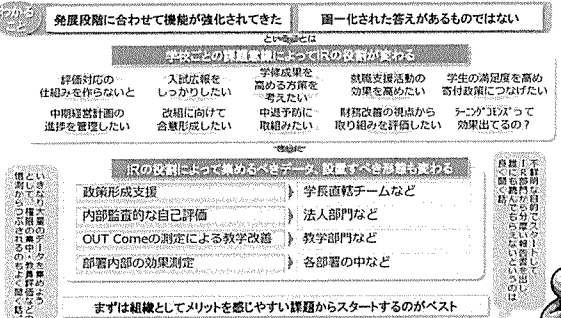
Copyright ©2013 HAW International Inc. all rights reserved

6-1. IRの定義とは？



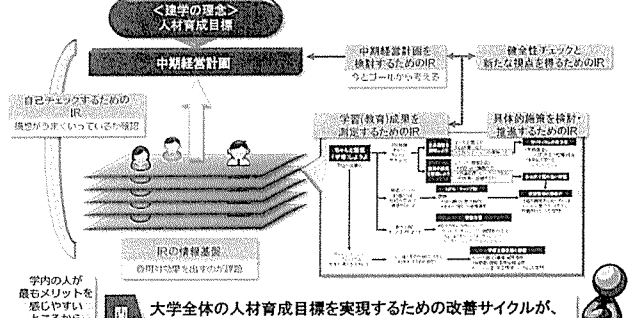
Copyright ©2013 HAW International Inc. all rights reserved

6-3. 分かったことからIRにどう取り組むべきか考える



Copyright ©2013 HAW International Inc. all rights reserved

6-5. 「教育の質保証」と「IR」の関係性



Copyright ©2013 HAW International Inc. all rights reserved

7. 最後に



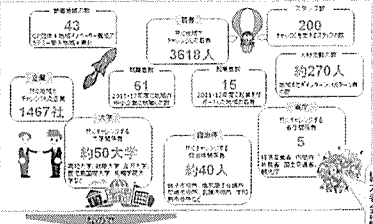
この一冊は、今年から9月1日現在までの期間限定で無料配布いたします。

我々のミッション 学生の学びと成長をサポートを通じて、元気な若者を増やすこと
 元気な若者とは、“今”を受け入れたうえで、未来に希望を見出し、自分の力・仲間力を信じて、勇気ある一歩を踏み出せる人。我々は、元気な若者が日本に増えることが、日本の活力を生み、日本らしい明るい未来を生み出す力になるものと信じています。

Wが10年前から参加するチャレロミの全国関係者マップ(2004年～2012年)

地域企業への最終実証型インターンシップ
 地域と若者をつなぐシニア企業支援

地域企業にイノベーションを起こし、学生の成長を引き出すプログラムに取り組んでいます。



インターンシップの充実に向けた取り組み

我々の仕事は「使われて効果が出る」までです。
 しっかりとサポートさせて頂きますので、引き続きよろしくお願いいたします。